

整理番号 kumiahiryo-103
作成日 2025年6月1日

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

| | |
|--------|--|
| 製品名 | 新・畑のサブリM60 |
| 会社名 | 全国農業協同組合連合会 |
| 担当部門 | 耕種資材部 |
| 住所 | 〒100-6832 東京都千代田区大手町 1-3-1 JA ビル 33F |
| 電話番号 | 03-6271-8285 |
| FAX 番号 | 03-5218-2536 |
| e-mail | zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp |
| 緊急連絡先 | 03-6271-8285 |

推奨用途及び使用上の制限 肥料用途に限る。肥料用途以外には使用しない。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

| | | |
|-----------------|----------------------|----------|
| 物理化学的危険性 | 火薬類 | 分類できない |
| | 可燃性・引火性ガス | 分類対象外 |
| | 可燃性・引火性エアゾール | 分類対象外 |
| | 支燃性・酸化性ガス | 分類対象外 |
| | 高压ガス | 分類対象外 |
| | 引火性液体 | 分類対象外 |
| | 可燃性固体 | 分類できない |
| | 自己反応性化学品 | 分類できない |
| | 自然発火性液体 | 分類対象外 |
| | 自然発火性固体 | 分類できない |
| | 自己発熱性化学品 | 分類できない |
| | 水反応可燃性化学品 | 分類できない |
| | 酸化性液体 | 分類対象外 |
| | 酸化性固体 | 分類できない |
| | 有機過酸化物 | 分類できない |
| | 金属腐食性物質 | 分類できない |
| | 健康有害性 | 急性毒性（経口） |
| 急性毒性（経皮） | | 分類できない |
| 急性毒性（吸入：気体） | | 分類対象外 |
| 急性毒性（吸入：蒸気） | | 分類できない |
| 急性毒性（吸入：粉じん） | | 分類できない |
| 急性毒性（吸入：ミスト） | | 分類できない |
| 皮膚腐食性・刺激性 | | 区分2 |
| 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 | | 区分1 |
| 呼吸器感作性 | | 分類できない |
| 皮膚感作性 | | 分類できない |
| 生殖細胞変異原性 | | 区分2 |
| 発がん性 | | 区分1A |
| 生殖毒性・授乳影響 | | 区分1B |
| 特定標的臓器毒性（単回ばく露） | | 区分1（呼吸器） |
| 特定標的臓器毒性（反復ばく露） | 区分1（呼吸器系、免疫系、腎臓、神経系） | |
| 吸引性呼吸器有害性 | 分類できない | |
| 環境有害性 | 水生環境急性有害性 | 区分2 |
| | 水生環境慢性有害性 | 区分2 |
| | オゾン層への有害性 | 分類できない |

ラベル要素
絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

危険
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
発がんのおそれ
呼吸器の障害
長期にわたる、又は反復暴露による呼吸器系、免疫系、腎臓の障害
飲み込むと有害
遺伝性疾患のおそれの疑い
長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】
使用前に、取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。
取扱い後は、手、顔等をよく洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入を避けること。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
汚染された作業着は作業場から出さないこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

【応急措置】
飲み込んだ場合：
気分が悪い時は医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合：
多量の水と石鹼で洗うこと。
特別な処置が必要である（「項目4. 応急措置」を参照）。
皮膚刺激が生じた場合：
医師の診断/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
皮膚刺激または発疹が生じた場合：
医師の診断/手当てを受けること。
眼に入った場合：
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：
医師の診断/手当てを受けること。
吸入した場合：
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
暴露、または暴露の懸念がある場合：
医師の診断/手当てを受けること。
漏出物を回収すること。

【保管】
施錠して保管すること。
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

【廃棄】
内容物/容器を都道府県の規則に従って廃棄すること。

GHS分類に関係
しない又はGHS
で扱われない他の

飲み込むと、のどを刺激する。

危険性

重要な徴候及び
想定される非常
事態の概要
咳、息苦しさ。
国/地域情報
特になし。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分： 混合物

化学名： なし

成分及び含有量%：

| 成分名 | 保証成分量 |
|---------|-------|
| く溶性りん酸 | 7.0 |
| 内水溶性りん酸 | 1.5 |
| 可溶性苦土 | 11.0 |
| 内く溶性苦土 | 9.0 |
| 内水溶性苦土 | 1.0 |
| アルカリ分 | 33.0 |
| く溶性マンガン | 0.15 |
| く溶性ほう素 | 0.06 |

危険有害成分

| 1. | 化学名又は一般名 | 成分含有量 | CAS No. | 含有量 (%) |
|----|---------------------|-----------|------------|---------|
| | 腐植酸苦土肥料 (結晶質シリカ) | MgO 10% | 14808-60-7 | 10.0 |
| | 官報公示整理番号 | 化審法 1-548 | 安衛法 165-2 | |

(成分表示は保証成分に限る)

| 2. | 化学名又は一般名 | 成分含有量 | 含有量 (%) |
|----|------------------|--|------------------|
| | 普通肥料 (指定配合肥料) | MnO 0.20% B ₂ O ₃ 0.20% | 10.0 |
| | 配合原料 | 官報公示整理番号 | CAS No. |
| | 硫酸マンガ肥料 | 化審法 1-477 | 安衛法 — 10034-96-5 |
| | 四ほう酸ナトリウム | 化審法 1-69 | 安衛法 — 12179-04-3 |

(成分表示は保証成分に限る)

| 3. | 化学名又は一般名 | 成分含有量 | 含有量 (%) |
|----|-----------|--|------------------|
| | 加工りん酸肥料 | MnO 1.00% B ₂ O ₃ 0.50% | 16.0 |
| | 配合原料 | 官報公示整理番号 | CAS No. |
| | リン酸マンガン | 化審法 1-476 | 安衛法 — 18718-07-5 |
| | 四ほう酸ナトリウム | 化審法 1-69 | 安衛法 — 12179-04-3 |

(成分表示は保証成分に限る)

4. 応急措置

| | |
|------------------|--|
| 皮膚に付着した場合 | 多量の水と石鹼で洗うこと。 |
| 皮膚刺激が生じた場合 | 医師の診断/手当を受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 |
| 皮膚刺激または発疹が生じた場合 | 医師の診断/手当を受けること。 |
| 眼に入った場合 | 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 |
| 眼の刺激が続く場合 | 医師の診断/手当を受けること。 |
| 吸入した場合 | 口をすすぐこと。 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。 |
| 暴露、または暴露の懸念がある場合 | 医師の診断/手当を受けること。 |
| 急性症状及び遅発性 | 吸入：咳、息苦しさ、咽頭痛、鼻出血 |

| | |
|---|---|
| <p>症状の最も重要な 徴候症状</p> | <p>皮膚：皮膚の乾燥、発疹 眼：発赤、痛み、一過性の視力喪失 経口摂取：腹痛、下痢、吐き気、嘔吐、脱力感</p> |
| <p>応急措置をする者の 保護に必要な注意事項 医師に対する特別注意 事項</p> | <p>汚染された衣類や保護具を取り除く。 特になし。</p> |
| <p>5. 火災時の措置 適切な消火剤 使用してはならない 消火剤 特有の危険有害性</p> | <p>水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類 棒状放水 火災によっては刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを 発生するおそれがある。 不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると、 分解して腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれ がある。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 消火作業の際は、適切な空気吸入器、化学用保護衣を着用 する。 粉じんや飛沫を飛散させないように注意して風上から消火 する。</p> |
| <p>特有の消火方法 消火を行う者の特別 な保護具及び予防措置</p> | |
| <p>6. 漏出時の措置 人体に対する注意 事項、保護具および 緊急時措置</p> | <p>漏えい物に触れたり、その中を歩いたりしない。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏えい区域として隔離 する。 関係者以外の立入を禁止する。 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への吸入を避ける。 漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。 漏えい物を掃き集めて空容器に回収すること。 漏出したものを掃き集めて、ポリ袋等に回収する。風による 飛散の恐れのある場合は、散水またはシート等で覆うなどし て回収する。 拡散しないようにする。 床面に残ると滑る危険性があるため、こまめに処理すること。</p> |
| <p>環境に対する注意 事項 回収・中和 封じ込め及び浄化 方法・機材 二次災害の防止策</p> | |
| <p>7. 取扱い及び保管上の注意 取扱い 技術的対策</p> | <p>取扱いは、換気のよい場所で行う。 作業場の換気を十分行う。 取扱場所の近くに、緊急時に洗顔及び身体洗浄を行うため の設備を設置する。 飛散した粉じんを吸い込まないようにする。 屋外での取扱いは、できるだけ風上から作業する。 眼、皮膚、衣類には付けないこと。 休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に 手、顔等をよく洗う。 休憩場所には、手袋等の汚染された保護具を持ち込んで はならない。 指定された場所以外では、飲食、喫煙を行ってはならない。 長時間あるいは繰り返し皮膚等への接触を避ける。そのため 保護具(保護手袋、長靴、保護メガネ、防じんマスク等)を 着用する。 取扱い後は、手顔等をよく洗い、うがいをする。</p> |
| <p>局所排気・全体換気</p> | <p>取扱う場合は、出来るだけ局所排気内または全体換気の 設備を設置して取扱う。特に開封時に注意する。</p> |

| | |
|--|---|
| 安全取扱い注意事項 | <p>使用前に、取扱い時の注意事項を十分に確認し理解するまでは使用しないこと。 みだりに粉じんが発生しないように取扱う。 粉じんの吸引、皮膚接触または飲み込まないこと。 屋外または換気の良い区域で使用すること。 取扱い後は、顔、手、口等をきれいに洗う。また、衣服が汚れた場合には洗ってから着用する。</p> <p>袋の場合、破袋などにつながるような粗暴な取扱いをしない。フレコン等で吊り上げて移動する場合、その下部になる所へは絶対身をおかない。 長時間あるいは繰り返し皮膚等への接触を避ける。そのため保護具(保護手袋、長靴、保護メガネ、防じんマスク等)を着用する。 取扱い後は、手顔等をよく洗い、うがいをする。</p> |
| 接触回避 | <p>袋の場合、破袋などにつながるような粗暴な取扱いをしない。フレコン等で吊り上げて移動する場合、その下部になる所へは絶対身をおかない。 長時間あるいは繰り返し皮膚等への接触を避ける。そのため保護具(保護手袋、長靴、保護メガネ、防じんマスク等)を着用する。 取扱い後は、手顔等をよく洗い、うがいをする。</p> |
| 保管 安全な保管条件 | <p>保管場所には貯蔵又は取扱いに必要な採光、照明及び換気設備を設けること。 変質を防止するため、直射日光、水漏れ、湿気、熱を避けて保管する。 火気、熱源、発火源から離れた場所で保管する。 雨水のかからない屋内に発じんしない状態で保管のこと。 施錠して保管すること。 容器を密閉して換気の良いところで保管すること。 ポリエチレン製の容器を使用する。</p> |
| 安全な容器包装材料 | <p>ポリエチレン製の容器を使用する。</p> |
| 8. ばく露防止及び保護措置 腐植酸苦土肥料 許容濃度等 管理濃度 許容濃度 | <p>設定されていない。</p> |
| 酸化マグネシウム | <p>日本産業衛生学会 (2022年版) $2\text{mg}/\text{m}^3$ (第3種吸入性粉塵)</p> |
| 結晶質シリカ | <p>ACGIH(2022年度版) TLV-TWA $10\text{mg}/\text{m}^3$ 日本産業衛生学会 (2022年版) $0.03\text{mg}/\text{m}^3$ (吸入性結晶質シリカ)</p> |
| 酸化鉄 | <p>ACGIH(2022年度版) TLV-TWA $0.025\text{mg}/\text{m}^3$ 日本産業衛生学会 (2022年版) $1\text{mg}/\text{m}^3$ (第2種吸入性粉塵)</p> |
| 酸化カルシウム | <p>ACGIH(2022年度版) TLV-TWA $5\text{mg}/\text{m}^3$ 日本産業衛生学会 (2022年版) $2\text{mg}/\text{m}^3$ (第3種吸入性粉塵)</p> |
| 酸化アルミニウム | <p>ACGIH(2022年度版) TLV-TWA $2\text{mg}/\text{m}^3$ 日本産業衛生学会 (2022年版) $0.5\text{mg}/\text{m}^3$ (第1種吸入性粉塵)</p> |
| 固形パラフィン 設備対策 | <p>ACGIH(2022年度版) TLV-TWA $1\text{mg}/\text{m}^3$ ACGIH(2022年度版) TLV-TWA $2\text{mg}/\text{m}^3$ (ヒュームとして) この物質を取扱う屋内作業場には、粉じんの発散源を密閉する又は局所排気装置等を設ける。 取扱い場所近くに、眼や身体を洗浄するための設備を設置する。</p> |
| 保護具 | |
| 呼吸器の保護具： | 簡易防じんマスク |
| 手の保護具： | ゴム製保護手袋(ラテックスアレルギーの方は天然ゴム製ではなく、合成ゴム製の手袋を使用すること) |
| 眼・顔面の保護具： | 保護眼鏡 (T8147) (密閉型ゴーグル) |
| 皮膚・身体の保護具： | 保護衣(長袖)、保護長靴(ゴム長靴) |
| 普通肥料 (指定配合肥料) 管理濃度 許容濃度 | <p>未設定 日本産業衛生学会 (2007年版) 未設定</p> |

| | | | |
|-------------------------|---|---|--|
| | ACGIH(2007年度版) | ホウ酸ナトリウム | TWA : 2mg/m ³ STEL : 6mg/m ³ |
| 設備対策 | 屋内での取扱いで粉じんが発生する場合には、局所排気、全体換気等の設備を設置すること。 | | |
| 保護具 | 呼吸器の保護具：適切な呼吸器保護具を着用すること。 手の保護具：適切な保護手袋を着用すること。 眼の保護具：適切な眼の保護具を着用すること。 皮膚の保護具：適切な保護衣を着用すること。 | | |
| 衛生対策 | この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後は、顔や手をよく洗うこと。 使用後の保護具は、定期的に洗浄し清潔に保つこと。 | | |
| 加工りん酸肥料 管理濃度 許容濃度 | マンガンとして0.2mg/m ³ (マンガン及びその化合物) | | |
| | 日本産業衛生学会 (2017年版) | | |
| | | | 0.2mg/m ³ (Mnとして、有機マンガ ン化合物を除く) |
| | ACGIH(2015年度版) | ホウ酸ナトリウム | TWA : 2mg/m ³ STEL : 6mg/m ³ |
| | ACGIH(2017年度版) | マンガン及びその化合物 (Mnとして、有機マンガ ン化合物を除く) | TLV-TWA : 0.02mg/m ³ (Respirable fraction of the aerosol) TLV-TWA : 0.1mg/m ³ (Inhalable fraction of the aerosol) |
| 設備対策 | 屋内での取扱いで粉じんが発生する場合には、局所排気、全体換気等の設備を設置すること。 | | |
| 保護具 | 呼吸器の保護具：適切な呼吸器保護具を着用すること。 手の保護具：適切な保護手袋を着用すること。 眼の保護具：適切な眼の保護具を着用すること。 皮膚の保護具：適切な保護衣を着用すること。 | | |
| 衛生対策 | この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後は、顔や手をよく洗うこと。 使用後の保護具は、定期的に洗浄し清潔に保つこと。 | | |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|-----------------------|--|
| 腐植酸苦土肥料 | |
| 物理的状態、形状、色など | 黒褐色、粒状 |
| 臭い | 特有の臭い |
| 融点、凝固点 | データなし |
| 沸点、初留点及び沸点範囲 | データなし |
| 可燃性 | データなし |
| 爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界 | 粉塵爆発の可能性あり |
| 引火点 | データなし |
| 自然発火点 | >600°C(クルップ式発火点試験) |
| 分解温度 | データなし |
| pH | 8.0~10.5(肥料等試験法に準じる) |
| 動粘性率 | データなし |
| 溶解度 | 水に214mg/ℓ(試料乾物1gを蒸留水40mlで1時間 振とう3回) |
| オクタノール/水分配係数 | データなし |
| 蒸気圧 | データなし |
| 密度/相対密度 | 約0.8g/cm ³ (粒状品) |
| 相対ガス密度 | データなし |
| 粒子特性 | データなし |
| その他データ | なし |
| 普通肥料(指定配合肥料) | |
| 物理的状態、形状、色など | 固体 白色～灰色、粒状品 |

| | |
|-----------------------|-------------|
| 臭い | データなし |
| 融点、凝固点 | データなし |
| 沸点、初留点及び沸点範囲 | データなし |
| 爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界 | データなし |
| 引火点 | 不燃性 |
| 自然発火点 | 不燃性 |
| 分解温度 | データなし |
| pH | データなし |
| 粘度 | データなし |
| 溶解度 | 水に可溶 |
| オクタノール/水分配係数 | データなし |
| 蒸気圧 | データなし |
| 密度/相対密度 | 1.2~1.3 |
| 臭いのしきい値 | データなし |
| 蒸発速度 | データなし |
| 燃焼性(固体、ガス) | 不燃性 |
| 加工りん酸肥料 | |
| 物理的状態、形状、色など | 白色～灰色、粒状品 |
| 臭い | データなし |
| pH | データなし |
| 沸点、初留点及び沸点範囲 | データなし |
| 引火点 | 不燃性 |
| 燃焼又は爆発範囲 | データなし |
| 蒸気圧 | データなし |
| 蒸気密度(空気=1) | データなし |
| 嵩比重(密度) | 1.0~1.1 |
| 溶解度 | 水に一部溶解、酸に可溶 |
| オクタノール/水分配係数 | データなし |
| 自然発火温度 | 不燃性 |
| 分解温度 | データなし |
| 臭いのしきい値 | データなし |
| 蒸発速度(酢酸ブチル=1) | データなし |
| 燃焼性(固体、ガス) | 不燃性 |
| 粘度 | データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|------------------|
| 反応性 | 引火性、自己反応性なし。 |
| 化学的安定性 | 化学的に安定、酸化還元変化なし。 |
| 危険有害反応可能性 | 特になし。 |
| 避けるべき条件 | 高温との接触回避。 |
| 混触危険物質 | データなし |
| 危険有害な分解生成物 | データなし |

11. 有毒性情報

| | |
|--------------------|---|
| 腐植酸苦土肥料 | |
| 急性毒性 | 経口：データ不足のため分類できない。 経皮：データ不足のため分類できない。 吸入(気体)：区分に該当しない。 吸入(蒸気)：データ不足のため分類できない。 吸入(粉じん、ミスト)：データ不足のため分類できない。 製品中には酸化カルシウムが含まれる。湿った皮膚に対 |
| 皮膚腐食性・刺激性 | して強い刺激性を示すとの記載(ACGIH(7th, 2001))から 区分2とした。(皮膚刺激) 製品中には酸化カルシウムが含まれる。粒子性酸化カル シウムが眼に重度のやけどを引き起こす可能性があるとの 記載(ACGIH(7th, 2001))から、区分1とした。 (重篤な眼の損傷) |
| 眼に対する重篤な損傷・ 刺激性 | データ不足のため分類できない。 |
| 呼吸器感受性 | データ不足のため分類できない。 |
| 皮膚感受性 | データ不足のため分類できない。 |

| | |
|--|--|
| 生殖細胞変異原性 発がん性 | データ不足のため分類できない。 製品中には結晶質シリカが含まれる。多くの免疫研究結果において、結晶質シリカへの職業ばく露と肺がんリスクの増加との間に正の相関が認められており、特に複数の研究結果をプールし異なるメタ解析を行っても、相対リスクは一貫して有意な増加を示した。(IARC100C(2012), SIDS(2013))ため、区分1Aとした。 (発がん性のおそれ) |
| 生殖毒性 生殖毒性・授乳影響 特定標的臓器/全身毒性 (単回曝露) | データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 製品中には酸化カルシウムが含まれる。含有する酸化カルシウムは水と反応して水酸化カルシウムを生じる。ヒトでは大量の水酸化カルシウムの短時間ばく露により肺水腫とショックを起こすとの記載がある。 (PATTY(4th, 1993))。 |
| 特定標的臓器/全身毒性 (反復曝露) | 以上により区分1(呼吸器)とした。(呼吸器の障害) 製品中には二酸化ケイ素が含まれる。ヒトにおいて石英、クリストバライトでは珪肺症が報告されている。また、実験動物においても石英、クリストバライトで線維形成性があることが報告されており、そのほか、石英では自己免疫疾患、慢性腎疾患及び無症状の腎変性、溶解シリカで金属ヒューム熱のような回帰熱の報告がある。 (ACGIH(7th, 2006))。 また、製品中には酸化アルミニウムが含まれる。職業ばく露により、肺に繊維症が認められたとの報告がある (EHC(1999))。 これらにより、区分1(呼吸器系、免疫系、腎臓)とした。 (長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器系、免疫系、腎臓の障害) |
| 誤えん有害性 普通肥料 (指定配合肥料) 急性毒性 | 動粘性率が不明のため分類できない。 |
| 皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性 | 経口：区分4に該当。 経皮：データ不足のため分類できない。 吸入(気体)：気体ではない。 吸入(蒸気)：データ不足のため分類できない。 吸入(粉じん)：データ不足のため分類できない。 吸入(ミスト)：データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 |
| 生殖細胞変異原性 | 硫酸マンガン CAS番号10034-96-5 により、 区分2に該当。 危険有害性情報：H341 遺伝性疾患のおそれの疑い。 データ不足のため分類できない。 |
| 発がん性 生殖毒性 生殖毒性・授乳影響 特定標的臓器/全身毒性 | 区分外。 データ不足のため分類できない。 |
| (単回曝露) 特定標的臓器/全身毒性 (反復曝露) | 区分外。 区分外。 |
| 加工りん酸肥料 急性毒性 | 動粘性率が不明のため分類できない。 経口：既知の有害成分からATEmixを算出し区分4に該当とした。 経皮：データ不足のため「分類できない」とした。 吸入(気体)：GHS定義による気体ではない。 吸入(蒸気)：GHS定義による蒸気ではない。 |

| | |
|-----------------------|--|
| 皮膚腐食性・刺激性 | 吸入(粉じん)：データ不足のため分類できない。 吸入(ミスト)：データ不足のため分類できない。 危険有害性区分に該当する成分を濃度以上含有しないため、区分外に該当。 |
| 呼吸器感作性 | データ不足のため分類できない。 |
| 皮膚感作性 | データ不足のため分類できない。 |
| 生殖細胞変異原性 | 硫酸マンガン(Ⅱ) (CAS：10034-96-5)により、区分2に該当。 危険有害性情報：H341 遺伝性疾患のおそれの疑い。 データ不足のため分類できない。 |
| 発がん性 | 四ほう酸ナトリウム・五水和物(CAS：12179-04-3)により、区分1に該当。 |
| 生殖毒性 | データ不足のため分類できない。 |
| 生殖毒性・授乳影響 | 危険有害性区分に該当する成分を濃度以上含有しないため、区分外に該当。 |
| 特定標的臓器/全身毒性 (単回曝露) | 硫酸マンガン(Ⅱ) (CAS：10034-96-5)により、区分1(神経系、呼吸器)に該当。 |
| 特定標的臓器/全身毒性 (反復曝露) | 動粘性率が不明のため分類できないに該当。 |
| 吸引性呼吸器有害性 | |

1 2. 環境影響情報

腐植酸苦土肥料

水生環境有害性 短期(急性) データ不足のため分類できない。

水生環境有害性 長期(慢性) データ不足のため分類できない。

生態毒性 データ不足のため分類できない。

残留性 データ不足のため分類できない。

分解性 データ不足のため分類できない。

生体蓄積性 データ不足のため分類できない。

土壌中の移動性 データ不足のため分類できない。

オゾン層への有害性 データ不足のため分類できない。

普通肥料(指定配合肥料)

水生環境有害性 短期(急性) 危険有害性情報：H401
水生生物に毒性

水生環境有害性 長期(慢性) 危険有害性情報：H411
長期継続的影響により水生生物に毒性

オゾン層への有害性 データ不足のため分類できない。

加工りん酸肥料

水生環境急性有害性(急性) 方式3：加算法(毒性乗率×100×区分1) + (10×区分2) + 区分3が0%であり、濃度限界(25%)未満のため、区分外に該当。

水生環境慢性有害性(長期間) 方式3：加算法(毒性乗率×100×区分1) + (10×区分2) + 区分3が0%であり、濃度限界(25%)未満のため、区分外に該当。

オゾン層への有害性 データ不足のため分類できない。

1 3. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、リサイクルに関する情報

残余廃棄物は、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行い危険有害性を低い状態にする。

土壌と混和して、埋め立て等で廃棄すること。

下水、河川へ直接廃棄しない。

外部に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処分業者に処理を依頼する。処分業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託すること。容器の廃棄は残余廃棄物と同様、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処分業者に処理を委託する。

1 4. 輸送上の注意

国連番号

品名(国連輸送名)

国連分類(輸送に

該当しない

| | |
|-------------------------|--|
| おける危険有害性 クラス | 該当しない |
| 容器等級 | 該当しない |
| 海洋汚染物質(該当・ 非該当) | 非該当 |
| 輸送又は輸送手段に関 する特別の安全対策 | 容器の破損がないよう、荷崩れの防止を確実に 行う。食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐植、 濡れ、水濡れの無いように積み込み、荷崩れの防止を 確実にすること。 |
| 国内規制がある場合の規制情報 | |
| 【陸上輸送】 | |
| 消防法 | 該当しない |
| 毒物及び劇物 取締法 | 該当しない |
| 【陸上輸送】 | |
| 船舶安全法 | 該当しない |
| 【航空輸送】 | |
| 航空法 | 該当しない |
| 緊急時対応措置指針番号 | なし |

15. 適用法令

腐植酸苦土肥料

| | |
|----------------------------------|--|
| 該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報 | |
| 労働安全衛生法 | 法第57条 名称等を表示すべき危険有害物 結晶質シリカ、酸化カルシウム、酸化アルミニウム、酸化鉄、 固形パラフィン 法第57条の2 名称等を通知すべき危険有害物 結晶質シリカ、酸化カルシウム、酸化アルミニウム、酸化鉄、 固形パラフィン 法第57条の3 危険性又は有害性等を調査すべき物 結晶質シリカ、酸化カルシウム、酸化アルミニウム、酸化鉄、 固形パラフィン 安衛則第577の2 がん原性物質 結晶質シリカ(2023年4月1日より適用) |
| じん肺法 | 法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業(二酸化ケイ素) |
| 毒物及び劇物取締法 | 該当しない |
| 化学物質排出把握管理 促進法 | 該当しない |
| その他の適用される法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報 | |
| 化学物質審査規制法 | 「肥料の品質の確保等に関する法律」の対象となるため 適用除外 |
| 肥料の品質の確保等に 関する法律 | 第3条(公定規格) 九 苦土質肥料 (登録番号 生第83968号、生第106815号 種類 腐植酸苦土肥料) |
| 地力増進法 | 第11条(土壌改良材の表示の基準) 第1項三 腐植酸質資材 |
| 消防法 | 該当しない |
| 水質汚濁防止法 | 指定物質(酸化アルミニウム、酸化鉄) |
| 船舶安全法 | 該当しない |
| 航空法 | 該当しない |
| 海洋汚染防止法 | 該当しない |
| 普通肥料(指定配合肥料) | |
| 肥料の品質の確保等に 関する法律 | 普通肥料 |
| 労働安全衛生法 | 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、 施行令第18条の2別表第9) 政令番号：312(シリカ) 政令番号：379(銅及びその化合物) 政令番号：544(ほう酸ナトリウム) 政令番号：550(マンガン及びその無機化合物) |

| | |
|---|--|
| 化学物質排出把握管理 促進法 (PRTR法) | 第1種指定化学物質 (法第2条第2項、施行令第1条別表 第1) 政令番号：1 (亜鉛の水溶性化合物) 政令番号：272 (銅水溶性塩) 政令番号：405 (ほう素化合物) 政令番号：412 (マンガン及びその化合物) |
| 水質汚濁防止法 | 有害物質 (法第2条、令第2条、排水基準を定める 省令第1条) ほう素及びその化合物 |
| 加工りん酸肥料 肥料の品質の確保等に 関する法律 労働安全衛生法 | 普通肥料 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2、 施行令第18条の2別表第9) 政令番号：544 (ほう酸ナトリウム) 政令番号：550 (マンガン及びその無機化合物) 特定化学物質第2類物質、管理第2類 (特定化学物質等 障害予防規則第2条1項第2、5号) 政令番号：33 (マンガン及びその化合物) 作業環境評価基準 (法第65条の2第1項) マンガン及びその化合物 |
| 化学物質排出把握管理 促進法 (PRTR法) | 第1種指定化学物質 (法第2条第2項、施行令第1条別表 第1) 政令番号：405 (ほう素化合物) 政令番号：412 (マンガン及びその化合物) |
| 水質汚濁防止法 | 有害物質 (法第2条、令第2条、排水基準を定める 省令第1条) ほう素及びその化合物 |

16. その他の情報

この情報は、作成者の知識の及ぶ限りにおいて正確ですが、その内容の絶対的な情報の正確性および情報収集の網羅性においては完全ではありません。
本記載内容は、製品に関するものであり、他の材料と組み合わせたり、処理された場合については想定しておりません。
特に医療用途、食品接触用途、化粧品、玩具には使用しないで下さい。
適切に使用する最終的決定の責任及びこの情報をユーザー独自の取扱いに適合させ、完全で満足できるものとする責任はユーザーにあります。
未知の危険性があり、取扱いに十分に注意する必要があります。このSDSには特定の

危険性について記載してありますが、これ以外の危険性が存在しないとはいえません。
ご使用に際しては、使用目的に適合するかどうか、および安全性について、ご確認
下さい。
本書の記載は新しい知見により断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。

参考文献

デンカ株式会社
腐植酸苦土肥料 安全データシート
小野田化学工業株式会社
くみあい苦土マンガンほう素入り複合2号 安全データシート
小野田化学工業株式会社
くみあいほう素マンガン入り苦土重焼燐 安全データシート

本SDSは、下記くみあい肥料株式会社の情報を元に作成しました。
該当物質については、下記にお問い合わせください。

| | |
|--------|------------------------------|
| 会社名 | くみあい肥料株式会社 |
| 担当部署 | 品質管理室 |
| 住所 | 〒025-0312 岩手県花巻市二枚橋第5地割146番地 |
| 電話番号 | 0198-26-3313 |
| FAX番号 | 0198-26-3316 |
| 緊急連絡番号 | 0198-26-3313 |